

「業界としての理念を研修に」

佐賀県県土づくりコンサルタント協会は、すべての会員企業が県内に本社を置く測量業、建設コンサルタント業及び補償コンサルタント業の一般社団法人です。現在、会員企業数は、29社で昭和53年に設立をいたしました。



(佐々木 会長)

測量業、建設コンサルタント業及び補償コンサルタント業の重要性を認識し、その適正な運営と健全な発達を図るとともに、これらの業界の社会的信用の確立及び技術の向上に努め、県土づくり及び県土の環境整備に寄与することを目的として設立いたしました。

あらゆる建設工事や調査において、測量は非常に重要であり、正確さを第一に品質の確保に努めなくてはなりません。これまで、受託成果を通し社会基盤の整備・保全に関与し、地域社会の安全・安心の確保と発展に貢献してきました。

測量業、建設コンサルタント業及び補償コンサルタント業においては、社会基盤、国民生活の根幹の一端を担っていると日々感じています。業界としての理念を会員企業に伝達することが当協会の重要な事業の1つです。

そんな中、ポリテクセンター佐賀より生産性向上支援訓練をご紹介いただき、今年度は3コースの生産性向上支援訓練を実施するに至りました。テーマとして、1つ目は、「個人情報保護」で、事業を受託するうえで、個人情報を含む情報管理は必ずできます。各社の新入社員研修等で「個人情報保護」は取り扱い

ますが、新人研修だけで終わりではなく、継続して、そして最新の情報管理を学ぶことが非常に重要だと考えています。2つ目は「業務効率向上」です。測量業、建設コンサルタント業及び補償コンサルタント業は、技術をもった技術者が必要です。技術を持った人材は有限であり、生産性を上げ、いかに時間内に業務を遂行するかの「業務効率向上」は大切な観点です。3つ目は「現場従業員の行動力向上」です。時間内の業務遂行には、現場従業員が自ら考え、行動していく組織的な人材育成も考えなくてはなりません。

当協会の要望や現場の視点などを伝え、カリキュラム内容に仕上げただき、講義だけでなく、演習も取り入れていただきました。

受講者からは、「入社以来、現場が主な業務だったが、事務職に異動になり、大変役に立った」、「業務及び会社内全体の無駄や改善点を知るきっかけになると思う」、「部下の育成方法に対し、ケースバイケースで詳しい話を聞くことができた」などの主な感想がありましたので、当協会としても、会員企業の問題解決につながる研修が開催することができたのではないかと感じています。



(研修風景)

測量業、建設コンサルタント業及び補償コンサルタント業の業界にて、業務遂行上、研修が必要なテーマはまだあります。今後の研修においても、生産性向上支援訓練を利用した研修を利用したいと考えておりますので、ポリテクセンターには、継続した情報発信をしていただきたいと思います。